

週間感染症情報

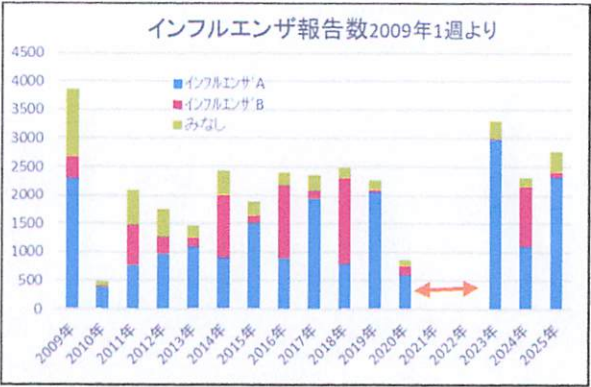
2025年50週～52週 2025年12月8日より2025年12月28日まで

50週 51週 52週

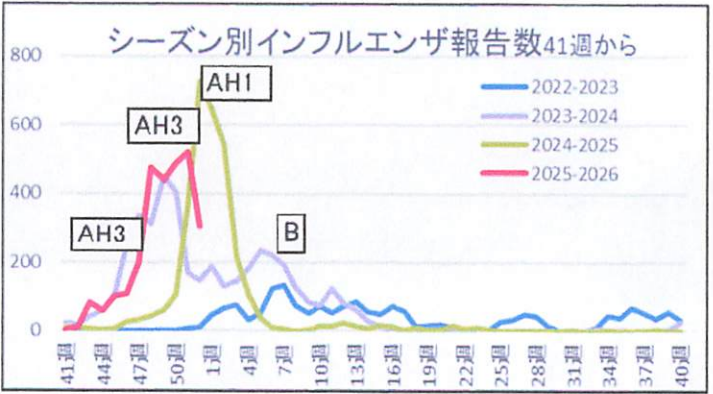
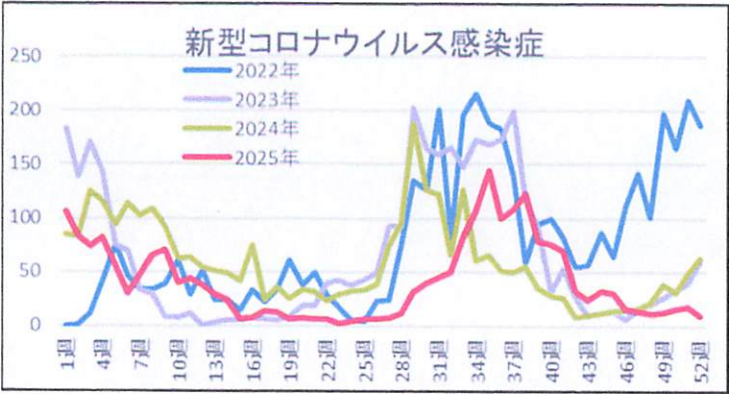
麻疹			
風疹			
水痘(みずぼうそう)	1	2	
ムンプス(おたふくかぜ)			
百日咳			
溶連菌感染症	11	5	11
手足口病			
ヘルパンギーナ			
伝染性紅斑	4	5	7
感染性胃腸炎	17	15	14
ノロウイルス(再掲)			
便アデノウイルス(再掲)			
突発性発疹	2	1	1
伝染性膿痂疹(とびひ)	1	1	2
ヘルペス性口内炎		1	
アデノウイルス感染症	1		
RSウイルス感染症	1	2	5
マイコプラズマ感染症	8	14	5
ヒトメタニューモウイルス			
インフルエンザ	487	522	306
インフルエンザ A	401	433	233
インフルエンザ B	1	0	1
新型コロナウイルス感染症	16	18	10

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。遅くなりましたが、50～52週の3週間分の報告です。

右のグラフからわかるように、マスクの着用など感染対策が徹底されていた2021年から2022年は、コロナの報告は続きましたが、インフルエンザの報告はなくなりました。右下のグラフから、インフルエンザAの流行は山を越えました。2023-2024シーズンの流行パターンに似ています。全国でもB型の報告が増えており、3学期が始まると、B型の流行が起こるのではと危惧されます。コロナの報告は少ないですが、施設でのクラスター発生の報告もあり、注意が必要です。クラスに一人インフルエンザの患者が出ると、数日後には周囲の5-6人がり患し、1週間するとクラスの半数がり患して、2週間でクラス内の流行は終息します。



寒くなって、ノロウイルスによると思われる嘔吐を主とするウイルス性胃腸炎が、増えてきています。RSウイルス感染症の報告は続き、入院になる年少児例があります。妊婦さんのワクチン接種が増え効果が出てきています。熱がなくても咳をしている場合は、マスクの着用をお願いします。手洗い・換気に努めて下さい。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)

三宅内科小児科医院 三宅真砂子 (インフルエンザの報告に誤りがありました訂正版です)